令和７年２月　19日

ボーイスカウト岡山連盟

各　団　団　委　員　長　　様

ボーイスカウト岡山連盟

県コミッショナー　　横山卓生

令和７年度「団継続加盟登録審査」の実施について

平素から当連盟の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、団継続加盟登録審査（以下、「団審査」という。）は、貴団の運営がより健全なものとなることを目的に、団の経営、組織、指導者、訓練の体制等について継続登録時に行うものであり、日本連盟教育規程第２章第１２条～第１４条において定められていることはご存知のことと思います。

つきましては、団審査を別紙１のとおり実施しますので、ご対応くださいますようお願いします。

なお、団審査を受けないことにより発生した登録事務、表彰や活動などへの支障については、岡山連盟及び県コミッショナーは責任を負いかねますので、審査実施日に必ず受けていただくとともに、万一期限に遅れることが予想される場合には必ず事前にご相談ください。

問合先　 県コミッショナー　横山

　 commissioner@okayama.scout.jp

※日本連盟教育規程　第2章

第12条　県連盟は、本連盟に代わって、県連盟内の団の新規又は継続の加盟登録

申請を審査し、加盟登録に適すると認めたときは、それを証明する。

２　県連盟の加盟登録審査に当たっては、県コミッショナーが地区コミッショナー、

担当委員会等の協力を得て実施する。

第13条　団の加盟登録審査は、団の経営、組織、指導者、訓練の体制等について

審査し、隊員の技能や知識の考査は行わない。

第14条　指導者の加盟登録に当たっては、青少年への影響と保護者に対する責任を

考慮し、指導者としてふさわしい人材が選任されるよう次の条件を十分に具

備していることを審査する。

(1) 指導者として、青少年を託するに足る品性と経歴を有していること。

(2) 指導者として、本運動に関する知識及び技能を有すること。

(3) 指導者として、必要な研修を修得すること。

(4) 指導者として、自己研修に努めていること。

別紙１

団審査　実施手順

ボーイスカウト岡山連盟

県 コ ミ ッ シ ョ ナ ー

QR コード

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。１　団が行う手順

（１）団審査実施希望日

右コードより、希望日時を県連盟ホームページから入力してください。  
時間は調整させていただくことがありますのでご協力ください。なお、最初の面談は午前10時から始まり、１団約３０分程度となります。

（２）評価の実施

全団調査や継続登録作業、今年度の取組結果などを通して、現在までのスカウト数推移、活動（日数、参加者数、プログラム内容）・進級状況、スカウト募集の実績、指導者の数や研修受講状況、運営費などについて、日本連盟教育規程、他団の状況や全国平均値などを参考に自ら評価を行ってください。なお、全団調査の入力は済ませておいてください。

（３）課題の抽出と取組計画の策定

評価を基に、団のあるべき姿に向けた課題について団委員会等で協議し、来年度に取り組む課題とその内容を記載した取組計画（別紙参照）を策定してください。取組計画は、団運営（主に団委員会が行う役務）と隊活動（隊の活動プログラムに関するもの）からそれぞれ一つとします。

（４）面談の実施

継続登録データと取組計画を期限までに提出してください。

それらの内容について県（副）コミッショナーと面談し協議します。

※継続登録データは入力作業後のエクセル形式のものでお願いします。

（５）取組計画の修正、承認

取組計画を県（副）コミッショナーとの協議内容を反映したものに修正のうえ、提出してください。

※提出が確認でき次第、継続登録の承認作業を行います。

２　提出期限

（１）令和７年2月２５日（火）　・継続登録データ

・令和６年度取組報告（別紙２）

・令和７年度取組計画（別紙３）

（２）令和７年３月　　　日（日）　・修正後の取組計画

３　面談実施日（対面のみ、、オンラインはありません）

・令和７年3月１日（土）津高公民館　午前10時～12時、午後１時～午後５時

・令和７年3月２日（日）御津公民館　午前10時～12時

４　その他

・提出先　 県連盟事務局 office@okayama.scout.jp

・問合先　 県コミッショナー commissioner@okayama.scout.jp

別紙２

令和６年度 取組報告

ボーイスカウト　　　　第　　団

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | 具体的な取組計画 | 具体的な取組内容と結果 |
| 団  運  営 | ※昨年の取組計画をそのままお書きください | ※今年度取り組んだ内容と結果をお書きください |
| 隊  活  動 | ※昨年の取組計画をお書きください | ※今年度取り組んだ内容と結果をお書きください |

別紙３

令和７年度 取組計画

ボーイスカウト　　　　第　　団

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | あるべき姿への課題 | 具体的な取組内容 |
| 団  運  営 | （例）  新しく入隊するスカウトの数が増えません。入団説明会をしても来てくれません。この地域でボーイスカウトを知っている人が少ないのではないかと思う。  **あるべき姿:**  **地域内でスカウト活動を知っている人が多い。**  **課題：**  **地域の方にスカウト活動を見てもらう機会を増やす。** | （例）  ・日本連盟ホームページにある団情報のページを年４回更新する。  ・ビーバー隊の隊集会のうち５月、９月、１２月の３回を「ワクワク自然体験」として一般の方に案内して一緒に活動する。  ・活動地域の近隣小学校1年生と保育園などの年長児童に「ワクワク自然体験」お知らせチラシを配る。その際に校長・教頭先生や園長先生に日本連盟のリーフレットを手渡し、その学校在籍のスカウトをお知らせする。 |
| 隊  活  動 | （例）  ボーイ隊やベンチャー隊に上進する際に退団するスカウトが多く、活動の魅力がスカウトや保護者に伝わっていないのではないかと思う。  **あるべき姿：**  **スカウトが成長する活動になる。**  **課題：**  **プログラムの進め方を改めて学び改善する。** | （例）  ・担当コミッショナーに隊活動の様子を見に来てもらい、どのような研修が必要か、また、効果的かなど、個別の支援をお願いする。  ・○○隊指導者に向けたプログラム作成研修を開いてもらうよう、県連盟団運営委員会の席で提案する。  ・別の団に相談し、活動の見学に隊指導者を行かせてもらい、どのようなプログラムなのか指導者がどうふるまっているか気づかせる。 |